

「伊賀市若者会議ってなに？」

そんな疑問にお答えするために、伊賀市若者会議の概要をまとめました！

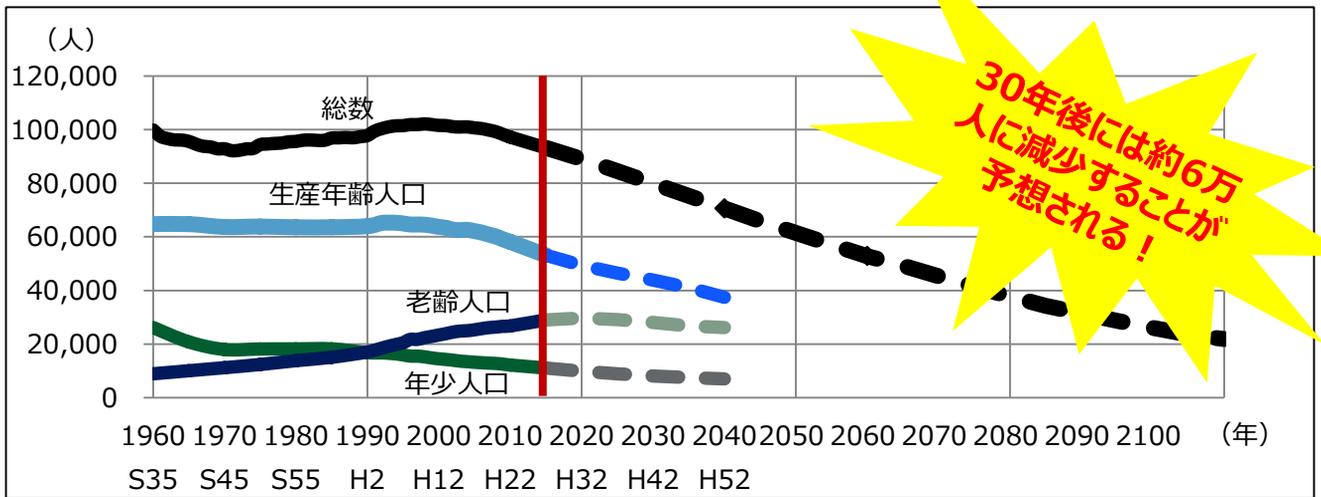


平成31年度活動概要

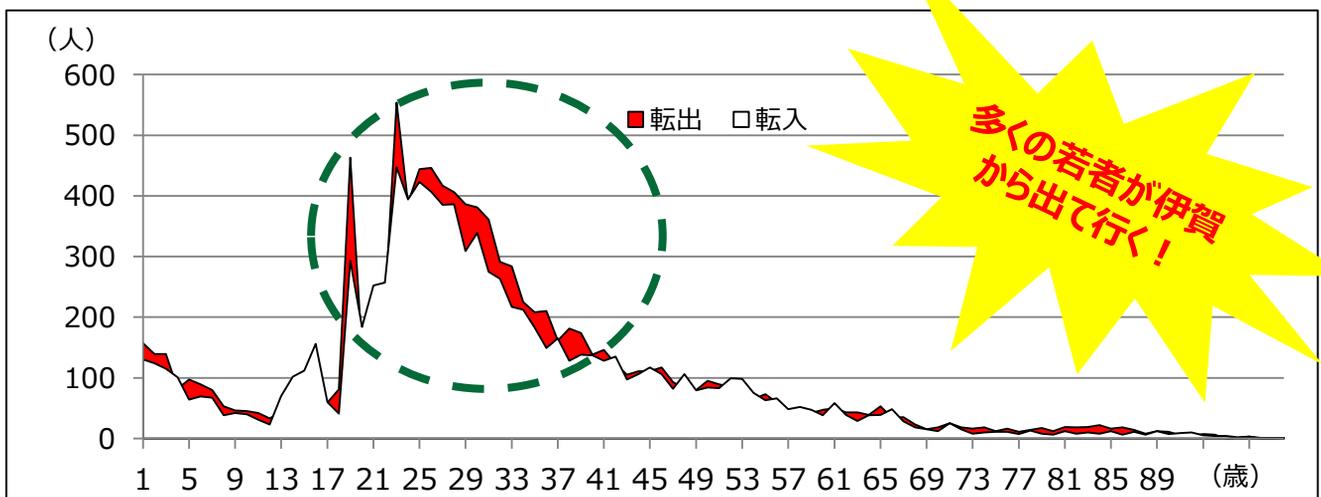
伊賀市の現状はどうなっているの？

伊賀市は、1998年を境として、現在まで人口減少が続いています。また、少子高齢化が進む中、20～30代にかけての若者の転出割合が高く、このままでは今後も人口減少の一途をたどることが予想されます。

<伊賀市の人口推移と推計>



<伊賀市の年齢別転入・転出者の数>



忍者で有名なのに!?

伊賀になかなか来てくれない



イモノ沢山あるのに!?

忍者以外あまり知られていない



ホテルいっぱいあるのに!?

伊賀になかなか泊まらない



みんな伊賀が好きなのに!?

若者の流出が止まらない



みんな盛り上がりたいののに!?

夜ににぎわいが無い



などなど

伊賀市はどんなことに取り組んでいるの？

「来たい・住みたい・住み続けたい伊賀市」をテーマに、地域の企業・大学・団体・マスコミなど多くの人々と連携しながら、具体的な事業に取り組んでいます。

子供は伊賀の宝

<主な施策>

- 子育て支援
- 少子化対策
- 男女共同参画



伊賀流 未来応援の術



伊賀市まるごとハタラクカタ
(イクボス) 共同宣言

誇れる伊賀、選ばれる伊賀

<主な施策>

- 移住・交流
- 多文化共生



都市部での
移住フェア開催



外国人住民による
出前講座

住み続けたい伊賀づくり

<主な施策>

- 地域公共交通
- 医療・福祉



新駅「四十九駅」



お薬手帳を活用した
在宅患者サポート事業

賑わいを取り戻す

<主な施策>

- 歴史・文化
- 中心市街地活性化



「上野天神祭 ダンジリ
行事」のユネスコ無形
文化遺産登録



俳句のユネスコ無形
文化遺産登録推進協
議会設立総会

シティプロモーション

<主な事業>

- 日本遺産認定
- 国際忍者研究センターの開設
- 「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト



忍者市宣言ロゴ



三重大学
国際忍者研究センター



伊賀上野
NINJAフェスタ



忍者トレイルラン
2018

地域に根付く人材の育成

<主な事業>

- 上高みらい学「地域プロデュース」
- 高校生お土産プロデュース
- 「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト



上高みらい学
「地域プロデュース」発表会



伊賀白鳳高校生徒による
商品販売会

協働による事業の推進

<主な施策>

- 地域住民との協働



まちづくりラウンドテーブル

若者会議はどうして発足したの？

ミライの伊賀市を創るのは、若いチカラです！「来たい・住みたい・住み続けたい伊賀市」を実現するため、若者会議は、伊賀市を離れた出身者や、移住者、市役所職員、市内高校卒業生など伊賀市に関わる人々が、伊賀市のミライを考え、思いをカタチにする場です。

若者会議のイメージ

「来たい・住みたい・住み続けたい伊賀市」の実現

市の取り組み
(プロジェクト活動)

シティプロモーション

地域に根付く人材の育成

協働による事業の推進

市の課題

新規プロジェクト①

新規プロジェクト②

⋮



参加・体験

企画・提案



まちを変えるには
若い力や考えが
必要なの！

みんなの力が
伊賀には必要
グリ！

伊賀市若者会議

発足

伊賀市に関わる人々が、伊賀市のミライを考え、思いをカタチにする場所として機能していくことを目指します。

参画

交流

参画

伊賀に帰って、伊賀のために何か出来ないかな？

外部人材
(出身者・移住者)

●●の取り組みについて、若者からも意見が欲しいな…

市役所職員

今後も住み続ける伊賀のために何か出来ることはないかな？

市内高校卒業生

若者会議は、平成30年9月29日に発足し、メンバーの積極的な参画により、さまざまな活動を行うことができました。平成30年度の活動の一部をご紹介します！

プロジェクト活動

In上野恩賜公園



NINJAフェスタ



In天神橋筋商店街



忍者百人衆



課題解決につなげるためにアンケート調査を行い、改善の方向性について伊賀市に提言しました！

伊賀上野シティマラソン（忍者RUN）



高校生が考えた企画を若者会議が実現しました！

先輩授業

市内県立高校



地域学習に取り組む高校生にアドバイスしました！

第4回まちづくりラウンドテーブル



伊賀市をよりよくするためのアイデアを提案しました！

企画会議

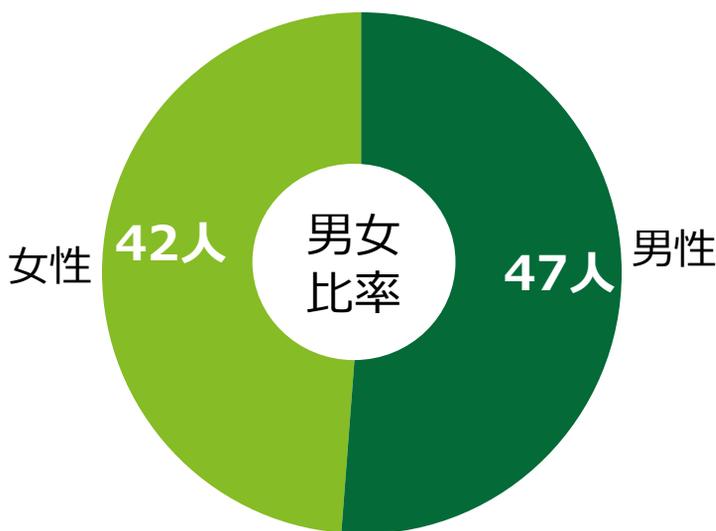


定期的集まり、交流や意見交換をしました！

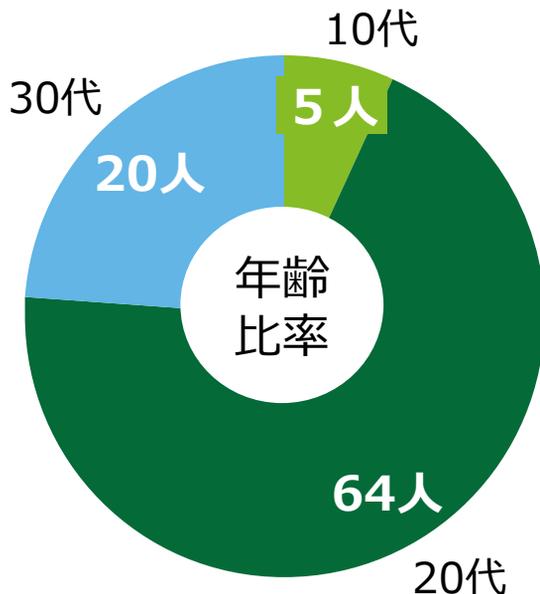
若者会議ってどんな人がいるの？

伊賀市若者会議の第1期メンバーは、平成31年4月から新規メンバー**30名**が
加わり、総勢**89名**となります！

男女比率



年齢比率



若者会議メンバーの声

皆さんから寄せられた、若者会議にかける想いや期待の声を一部ご紹介します！

NEW



大学で「伊賀市出身」と言うと必ず「忍者のところ」と言われるがそのほかは「何もない」「田舎」くらいしか言われないことが多く、わたしにとって大切で大好きなふるさと伊賀市をもっといろんな人に魅力ある市だと思われる市にすることに貢献してみたいと思ったからです。また、同年代の人たちと意見を交わして活動することに魅力を感じました。

伊賀市の魅力を周りの人やいろんな人に発信していきたい

NEW



NEW



私は昔から地域に貢献できることがしたいと思っていました。仕事で伊賀市に勤務になったことにより、この町の魅力を感じるようになりました。そして子供が産まれたことにより、子供達のミライの為に何かしたいと強く思うようになりました。私が行いたい内容としては主に2つあります。1つめは、伊賀市には魅力ある観光スポットが豊富にあるのでそれを広める活動に参加したいです。まずは意見交換や知識を増やして、イベント以外にも私生活の中で伊賀市の魅力をアウトプットしていきたいと思っています。2つ目は育児がしやすいまちづくりについて考えたいです。伊賀市は沢山の支援センターがあり様々な事業をしてくれています。しかしながら知らない人が多く日中はひとりで頑張っています。子育てはすごく大変なので、皆で少しでも楽しい気持ちで育児できたらなあ...と日々思っているので、そういった意見交換もしていきたいです。

NEW



三重を盛り上げたい思いがあるから、伊賀地域の文化を深く知ってみたいと思った。

生まれも育ちも伊賀市(旧青山町)です。自分自身、サラリーマンである傍ら休みの日はギターを弾きながら唄う、所謂、弾き語りという活動をしています。故郷伊賀を正月やお盆のような長休みに「帰りたい」「行きたい」街にしたいと今も市民活動に参加したりもしていますが、どこかお上主導の活動には怪訝な態度をとってきました。しかし、自分の年齢を若者と捉えてくれる活動に突っ込んで、若い人たちと語り合い、本気でこの街を「帰りたい」「行きたい」街に成らすためにお上の活動に参加したいと思いを改めました。あとは、これから継続して活動、生きていくための人脈づくりをしたいと思っています。

NEW



NEW



友人に勧められた。また自分の趣味が仕事で成功した時に将来、地元をテーマにした作品を作りたいと思っているから。

去年仕事の関係で伊賀市に引っ越してきました。応募の切欠は家に届いたチラシです。仕事の勤務体系が特殊です。・朝勤務、昼勤務、夜勤務がある・土日が休みになることが稀・勤務予定が決まるのがかなり遅い(4月の予定が3月の3週とかに決まる)上記の状態ですので、常時参加は厳しいです。たまにの参加のボランティア的な位置になると思います。

NEW



NEW



私は名張市在住ですが、2年前に、伊賀市選出の県議会議員の下でインターンシップに参加しました。そこで、ポスティングや講演会などを通して、伊賀市のまちや文化について今一度深く学ぶ機会になりました。それまでは、忍者文化や伊賀組紐など(小学校の社会見学で実際に作りました)が伊賀市に関する知識のほとんどでしたが、坂倉建築などの近代建築文化や伊賀市に根付く町の文化を知る機会となりました。それらを通して、伊賀の魅力について再認識をすると共に、これらの文化や歴史を周囲に伝えていきたいと思い、今回参加してみようと考えました。また、自身は若者の社会参画やキャリア支援といったことに興味を持ち、若者が街を創ることや次の世代にその重要性を伝えていくことのできる機会にもなると思い、参加したいと考えました。

県外から来て、地元の人にもあまり認知されていない伊賀のステキなところが多くあることを知りました。伊賀のステキなところをもっと多くの人に知ってもらえる活動に参加できればと思い応募しました。

NEW



NEW



伊賀には魅力がたくさんあるのに、周知されていない事実がある。実際に観光客は一定数いるが、もう一度来たいと思えるかは不明。観光客として来ていただいたお客様に魅力を存分に感じていただき、また来たいと思える街づくりが必要だと思っている。また、伊賀で生まれた人々にも魅力を知ってもらい、伝道師となってもらえるような工夫も必要だと思う。

NEW



私は現在、龍谷大学4年生で、京都で下宿をしています。実家は名張市です。私の伊賀市との繋がりは上野高校に通学したことです。高校生活のほとんどを上野で過ごしたことで愛着を持つようになりました。今でも市内には高校の友人が多く、帰省のたびに遊びに訪れています。私は伊賀の文化、日本酒、風景が大好きです。ただ、この想いを共有したり、また新しい魅力を発見したりする機会は多くありません。「伊賀市若者会議」ではこれらの機会が得られ、かつ自分が発信できる立場になれるところに興味を持ちました。加えて、「伊賀市若者会議」に参加している高校の友人から活動の話を知りました。活動と普段の生活が十分両立できることや活動の雰囲気を知り、さらに興味が湧き、是非とも参加したいと思い応募致しました。また、私自身現在大学四年生で最後の学生生活です。最後学生の立場で、何か地元と関わる機会を作りたいと考えていました。就職場所によれば、地元から遠く離れることもあるかと考えます。この分岐点で何か地元のことを考えることができたかなと思っています。具体的には伊賀の魅力を「写真と一言」でSNSを活用し発信したいと考えています。特に地元の人に対して「あれ？ここどこやっけ？」「こんなところ知らなかった！」と思ってもらえるような角度から発信したいです。市民が地元のいいところを探しに興味を持っていただければ、地元の方が自ずと発信源になり得るし、その結果、伊賀市総出でいいところ発信が実現できるのではないかと思います。個人的なゴールとしては、県外の友人に伊賀とはどんなところかを伝えることだと考えています。大学の友人と地元の話をする際、思いのほか言葉が出てきません。まだまだ知らない伊賀の魅力を知り、発信できるようになりたいと思っています。

私は市内在住の大学生です。毎日大阪にある大学に通学していて、春から2回生になります。前回の申し込みに間に合わず、今回のメンバー追加募集を知り応募しました。先日、上野市駅の駅名が忍者市駅に改名されました。私も大学で自己紹介をするときは、一番初めに忍者の町と説明することがほとんどです。ですが最近、伊賀市よりも甲賀市の方がニュースで目にすることが多いと感じる時があります。伊賀市はもちろん忍者だけではなく他にも色々な観光場所や食文化、風情のある街並みなどたくさんあると思います。でも残念なことに、いまいちインパクトが薄いような気がします。例えばですが、友人にお土産を持っていきたくても、昔ながらのかた焼きなどしか思いつきません。若者なので、漬物やお酒を買うというわけにはいきません。お土産を買える場所も少なく、スーパーの地元の売り場で売っているものも伊賀と書いてありますが、製造元を見れば伊賀のものではありません。なので、市をあげてもっと力を入れてもいいのではないかと思います。伊賀鉄道なんか、普段利用しない人々には全く理解されませんが、私を含め通学・通勤に利用している人々にとってはまさに神のような存在だと思います。悪天候だとすぐ止まってしまうJRだと、通学できません。上野天神祭りのだんじり行事もユネスコ無形文化遺産に登録されていたり、自慢できるところが盛りだくさんだということにもかかわらず、伊賀の良さを発信できていない気がします。ゆるキャラもたくさんいるのに、まとまりがなさすぎて伊賀に住んでいても知らないキャラがたくさんいる気がします。昔から守られている伝統は守りつつ、新しい風がもっともっと吹いてほしいと思います。伊賀市が故郷の人は必ず戻ってきます。そんな人も胸を張って伊賀市出身と言えるように、もっともっと発展と思います。伊賀市は都会とは違い、高齢の方と同居の家も多く、子育てもしやすいところだと思います。もっとよりよい市にするために、私たち若者の意見もたくさん取り上げてほしいと思います。実際に何ができるかわかりませんが、伊賀市のために、伊賀市を誇りに思える、もっと好きなふるさとにしたい気持ちでいっぱいです。2020年に20歳になる若者の意見もどうか取り入れられますように。

NEW



NEW



私は生まれてから18年間伊賀市に住んできました。自然が豊かで、人が優しい、そして歴史と伝統のあるこの町が私にとって誇りに感じています。しかし、わずか18年ではありますが、衰退を感じる事が多々あります。私の近くのスーパーは採算が合わないのか店をしまい、学校が統廃合され、子供の減少、人口減少が進んでいます。このままでは伊賀市はますます衰退してしまうという危機感を持っています。このような現状を打開する一つの策は伊賀市の魅力をより発信し観光客を呼び込むことが重要であると考えます。観光客の増加により、経済的にも社会的にも活力のある伊賀市を作っていきたいと考えています。今回若者会議を通じて行いたいことは大きく二つあります。一つは海外や留学生をはじめ、伊賀以外に住んでいる人への情報発信、交流です。依然として伊賀という地名の認知度は低いです。忍者は知っていてもそれが伊賀発祥であると認知している日本人でも意外と少ないのが現状です。また留学生や、海外ではなおさらです。私はイギリスに留学していたことがありますが、忍者をそもそも知らない場合も多々ありました。しかし忍者についての説明をすると非常に興味深く聞いてくれました。これは潜在的な可能性を秘めていると証左です。忍者は世界的にも魅力のあるコンテンツの一つだと思います。忍者という貴重な資源を活かすことができれば伊賀市はますます発展するでしょう。先日東京の上野公園にてイベントを開催したと伺いました。私も若者目線に立って伊賀市の魅力が伝わる企画を立案したいと考えています。二つ目は伊賀市に住んでいる人へ情報発信です。先日伊賀市が行ったアンケートの結果では若い世代ほど伊賀市から移住したいと思っていることが読み取れます。その理由としては伊賀市の魅力を伊賀に住んでいる人自身が把握していないのではないのでしょうか。感覚ですが、伊賀市には未来がない、魅力がないとあきらめている雰囲気があるような気がします。それを打開すべく伊賀市内に住む人々へ向けて伊賀市の魅力をより発信していきたいと考えています。伊賀市に住む人が自信を失っては観光客も増えることはないでしょう。伊賀市に住む人が自信と誇りを持つこと。これは伊賀市全体が今後上昇志向で物事を取り組んで行く契機となるでしょうし、ひいては観光の活性化にも十分生きてくるものであると考えています。

婚約者の地元が三重県伊賀市です。彼女から若者会議の活動の内容を聞き、とても魅力的に感じました。是非私も一緒に活動させていただきたいと思い、応募することを決めました。これをきっかけに、伊賀市のことをもっとよく知り、もっと好きになりたいです。よろしくお願い致します。

NEW



NEW



友人に誘われたから。伊賀の魅力は忍者だけではなくもっとPRしていきたいです。

私は伊賀市で生まれ育ち、これまでずっと受動的にこの市とともにありました。しかし、自分自身の将来を考える上で、この市と一度能動的に向き合いたいと思ったため、若者会議に応募しようと考えました。特にやってみたいことは「市民参加型イベントの企画」です。伊賀市をより良くするためのアイデアや意見を持っている市民の方々が、出来る限りそれを発揮できるよう、手伝いができたらと思います。また、そのような活動のなかで、私自身も伊賀市のために何が出来るか考えたいと思っています。

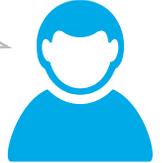
NEW





4年前に伊賀市に引越してきて、初めは何も無い田舎だと思っていましたが、住んでいるうちにオシャレなカフェや写真スポット、楽しい美味しいがたくさんある事に気が付きました。地元の人からよく聞く「伊賀って忍者以外何があるの？」を「伊賀って忍者もあるし、あれもこれも……」と話が膨らむような印象に変えたい、もっと伊賀の知られざる部分を自分自身が知りたい、そしてみんなにも知って欲しいという想いで応募しました。せっかく移り住んだこの地で何か役に立つことが出来るのではないかと考えております。よろしくお願いします。

伊賀を離れて数年になりますが、帰省するたびに自然・歴史・食のどれをとっても他の地域に負けない魅力を実感し、ここで生まれたことを誇りに思っています。そんな大事な故郷の未来を担う若者たちと一緒に伊賀の持つ無限の可能性を発掘し、一つでも多くの魅力を発信できたらと考えます。またその過程で愛着や誇りを感じてもらいたいです。私は今メディア業界にいますので、外部への情報発信や伝え方などお手伝いできればと思います。



私は、ここ伊賀市で生まれ中学3年生まで育ってきました。その後県外へ進学し、今年4月に就職のため伊賀へ戻ってきました。8年ぶりに感じた伊賀は、少しずつ新しい街に生まれ変わり、若返ってきているように感じます。私はこれからの伊賀を担っていく若者として、地元愛を発信してみんなで広げていきたいと考えています。活動の1つである都市圏でのプロモーション活動では、自分自身が肌で感じてきた伊賀の魅力を伝えながら、共に伊賀を創っていきたく感じてもらえるようなイベント、PRに携わってきたいです。

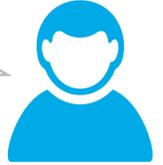
私は4月より、三重大学の「地域創生推進チーム」という部署で伊賀サテライト担当の事務職員として働いております。元々は愛知県出身ですが、大学在学中の4年間を三重県で過ごして自然の豊かさや人の温かさに触れ、就職後も三重県に住み続けたいと思い現在の職場を志望しました。しかし、私の主観ではありますが、三重県出身者は就職先の少なさから卒業後は県外に出ていく方が多く、大学時代の友人に伊賀市出身者が数名おりますが、やはり就職を機に市外・県外へ出てしまう方が多いため、とても寂しく感じております。ご縁があって伊賀サテライト担当として働いており、4月以降、業務の関係で月に数回伊賀市を訪問しておりますが、伊賀市に直接的な地域貢献ができていたとは言えず、何か少しでも伊賀市の発展に貢献できる手段はないかと考えているところに今回の若者会議メンバー募集の案内を耳にしました。伊賀市で生まれ育った方々と比べると個人でできることは小さなことかもしれませんが、より良い伊賀市をつくる一員として、伊賀市出身者だけでなく、外部出身者としての目線で何か力になれることがあればと思い応募を決意致しました。また、伊賀市の進める政策を外から見ているだけでなく当事者として関わることで、自分自身が伊賀市をよく知ることに繋がるため、業務上の関わりだけでなく、個人的な活動として取り組みたいと思い、今回応募させて頂きました。私自身、現在の部署に異動するまでは伊賀市に関して正直あまり詳しくなく、まずイメージするものはやはり「忍者」でした。活動内容の1つである忍者市プロモーション活動を通じて忍者の魅力を発信するとともに、まだあまり知られていない、忍者だけではない伊賀市の魅力を発信していくことにより、伊賀市を訪れる方の増加や満足度の上昇、さらには移住者の増加や伊賀市に誇りを持つ方の増加に繋がればと考えております。よろしくお願いします。





伊賀市は生まれ育った街であり、大切な人達が暮らしている大好きな市です。そんな伊賀市をもっと有名にしたい、市外の人々にももっと良さを分かってほしいと思い応募しました。大学で、愛知や大阪の友人と話していると『伊賀市 = 忍者』の知名度の高さに驚かされます。しかし、実際に来たことがある人は少ないと感じます。ただ、知名度をあげるのだけではなく実際に訪れたいと思えるプロモーション活動をしたいです。同世代の人と伊賀市の活性化に向け意見交換し、自慢できる伊賀市を自分達で作りたいです。

伊賀市で生まれ、伊賀市で育ち、去年は家を伊賀市に建て、この地に永住するつもりです。そんな土地をより良い場所にしていきたいと思い応募しました。イベントを通して自分自身も知らない伊賀の良いところを伊賀市民に知っていただくこと。また近隣他府県をはじめ、世界中の方々に伊賀のよいところを知っていただける活動を考えてきたいと考えております。



郵送された案内をみて。伊賀市は魅力が多いまちなので、まずは伊賀市にかかわりたいと思い応募しました。

小さい頃からこの伊賀市ですっと住んできました。就職した今もこの伊賀市から離れたくないと言う思いがすごく強いです！この大好きな伊賀市をもっともっとみんなに知ってほしい！！伊賀市の良さを伝えたいです。



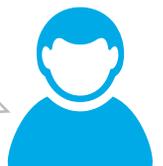
大阪のゼミで、企業と大阪観光局と連携を組み、訪日外国人を誘客するために、大阪の魅力ある観光素材を発掘し、旅行商品を開発するプロジェクトを行なっております。ここで培ったノウハウを故郷である伊賀の地で活かし、私を育ててくれた土地や人に恩返しできればと思い、志望いたしました。また、オーストラリア、アメリカ、中国、カナダでの留学と、趣味である海外旅行の経験から培った語学力と異文化理解力を活かしたいと思っております。

小中高と伊賀市、就職も伊賀市の生粋の伊賀育ちの人間ですが、今までは地元が故にあまり興味がありませんでした。最近職場で労働組合に携わる事になり、地域の行事等への活動へ参加する機会があり、意外に伊賀市はええとこじゃないか？と思うようになりました。そんな時にたまたまこの募集を見付け、せっかくなら自分にも何かできるのではないかと思い、応募させていただきました。何か新しい刺激で自分も成長したいという思いもあります。



伊賀市をもっと好きなまちにしたいと思います。なぜなら、私は幼い頃から伊賀市に縁がありましたが、上京して伊賀市に帰ってきてからより一層、伊賀市の良さ、魅力に気づきました。そんな思いを行動にカタチにする仲間と一緒に活動してみたいと思っています。

応募に至った動機は2つあります。1つ目は、将来、住み続けようと考えているこの伊賀に貢献し、自分の力で少しでも住みやすい街にしていきたいからです。微力ではありますが若者だからこそできることを常に考え行動したいです。2つ目は、志同じく伊賀を良くしようとする若者と交流したいからです。伊賀に住んでいるものの、大学などで市外に出ることが多いため、地元のことを考える人とのコミュニケーションの場が無い現状です。将来、共に住み続けるであろう人達と交流し、仲間づくりの第一歩にしたいと考えています。具体的にやってみたいことは、松尾芭蕉のプロモーション活動です。伊賀といえば忍者ですが、芭蕉さんも有力な観光資源であると考えます。大学で芭蕉さんの研究をしているのでそれを生かしたいです。忍者を入口に、芭蕉さんは待ち伏せる形でじっくりと味わってもらえるような取り組みをしたいです。





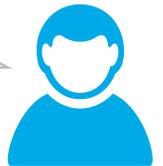
4月から主人の転勤により、伊賀の暮らしが始まりました。伊賀は忍者市というイメージはありましたが、どんな街か楽しみに引っ越して来ました。伊賀市役所では忍者の姿をした職員に迎えられ、美味しい食べ物もたくさんある伊賀がとても好きになりました。けれど、まだまだ伊賀の魅力を堪能できていないと感じており、この活動に参加することで伊賀の魅力を知り、発信していけたらなと思っています。また、同世代の人とも交流できたらなと思っています。

伊賀に生まれ伊賀に育ちこのまま伊賀で死んで行こうと考えています。この10年ほどでも伊賀は様変わりしました。これからの10年、20年、30年先を考えた時今のままでは伊賀市は衰退してしまうのではないかと感じる時があります。伊賀には自分がまだまだ知らないたくさんの魅力があり、誇りに思える伊賀を自分の子供や孫にまで伝えていきたいと思えます。今回、若者会議の応募をみて同じように伊賀のことを思う同世代と何か出来るのであれば参加してみたいと思い応募しました。祖父が農家で私もずっと伊賀の農業に触れてきました。伊賀のお米は全国的にも一級品でそれ以外の農産物も魅力的な物がたくさんあります。そして自然環境をも豊かです。私は観光的なPRと共に農環境の良さを伝えられる活動も出来たらと考えています。



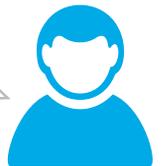
私は生まれてからずっと伊賀市で育ってきました。大学に入ってから伊賀市から出て活動するようになり、改めて伊賀市の良さを感じる機会が多く持てるようになりました。そこで伊賀市の良さを市外、県外の方にも知ってもらえるように、さらにより良い伊賀市をつつために力になればと思い応募しました。

私は高校までを伊賀市、その後、大阪・東京・海外で生活してきました。現在でも仕事で他県や海外の方と接することが多く、伊賀市は自分達が考えている以上に多くの注目を浴びていると感じました。これまでの私の経験を活かし、多くの方に伊賀市の魅力を感じて頂けるよう活動することで、知名度をさらに上げ、魅力溢れる伊賀市を創っていきたく思い応募させて頂きました。



伊賀市で医療・福祉に8年たずさわり、来年新居を伊賀市にて建てる予定です。これから、この地に永住しようと思っていますので、より皆様が暮らしやすい街になればと応募を決意しました。偶然新居が小中高と近いところで、仕事でも職場体験などで若い方々と交流することで楽しく参加させて頂けたらと思っています。子どもから高齢者まで楽しく過ごせる街づくりのお力になれば幸いです。

小学校から高校まで約10年間伊賀に住んで、大学進学を機に他県に引っ越し、今は中国で仕事をしています。伊賀を出て、いろんな人に出会う中で、やはり出身地の話題は出てくるのですが、多くの方が「忍者の街でしょ？」という反応をしてくれます。小さな町にもかかわらず、すごいことだと素直に感じています。伊賀から離れてはいますが、何かこの活動をきっかけに、伊賀とのつながりを見直し、また微力ながら参加できることがあれば、やってみたいと思い、応募させていただきました。募集人数に限りがあるということで、遠方からですので現地での参加がしにくい私が言うのも恐縮なのですが、今回のイベント以外でも何か協力させていただけることがありましたら、ご連絡いただければと思います。よろしくお願いいたします。



伊賀市でシングルマザーとなり、市に助けをいただくことがたくさん・・・何か恩返しが出来たら良いなと思います。本業がデザイン、カメラ等クリエイティブなことに興味が強く、地域振興についてもできることがあるのではないかと・・・と思いました。



私は生まれた頃から伊賀市に住み、大学で離れたのですが、なんとなく伊賀市に戻って来ました。私の同年代の友達は伊賀市は何もないから出て行きたいという人が多くて悲しいです。伊賀市もなかなかええとこやなって思ってもらえる町にしたいです。将来は伊賀市にゲストハウスを作って世界中から人が集まる観光地にしたいです。そのためにも、地域の若い人たちと協力して伊賀を盛り上げるために何かしたいと思い応募しました。

伊賀市で生まれ育って、今は自分の子供が生まれ、伊賀市がもっといい町に変わっていく姿を見たいと思いました。伊賀市が好きなので、関わっていききたいと思い応募しました。伊賀市はまだまだ変わっていく段階に携わりたいと思いました。



結婚して移住するまでは、伊賀市の事は良く知りませんでした。しかし、実際に住んでみて子育てしやすく自然や忍者、芭蕉さんとの繋がりが深い町に魅力を感じています。私の様に、伊賀を良く知らない人に伊賀の魅力を様々な形で知ってもらえる活動に興味を持ち、応募しました。

募集の手紙を見て、気になったので応募しました。平成もあとわずかになり、私自身もっと伊賀市とのつながりを持ちたいと思います。伊賀市の名物を新たに増やしたりして、観光客に伊賀市の素晴らしいところをもっと知っていただきたいです。



どんな事を話し合うか興味があったから。また、伊賀は忍者以外に組紐や俳句とか良いところがあると感じたから。

おいしい牛肉、米があり、忍者で有名など色々なポイントがある伊賀ですが、私が今回PRしたいのは、完全に私見ですが、伊賀の家屋が立派な建物であることが多いということです。特に農家の家屋は、大きくしっかりとした佇まいをしているように思います。他地域と比較すると伊賀市の家屋は割合大き目の家が多く、見た目も美しいように思います。伊賀の田園風景を色づける大切なものになっていると思います。伊賀をPRし、またそのような家をPRし、多くの人が伊賀に来たり、伊賀に住んだりして、伊賀が元気にできたらよいと思い応募いたしました。



最近の若い世代の中では「夢を持つ」「やりたいことをやる」という気持ちが減少傾向にあると思います。私は音楽活動をやっており、音楽や、いろんな企画、イベント等を通して若者達ももっと身近にこの町と触れ合えたり、ひとりで抱え込むことなく寄り添える場所をつくっていき、夢を持つことの素晴らしさを沢山の人に発信していきたいと思っています。又、私は介護士でもあり、介護の苦しい現状を目の当たりにしている為、介護職の素晴らしさや、やりがい等を発信していき、若い世代にももっと携ってもらえるようにしたいと考えています。そして、個人的に考えていた活動ではありますが、動物愛護活動に積極的に取り組みたいと思っています。私だけでは力不足なので、若い力で発信、拡散し、救えるはずの命を全力で救いたいです。私自身、発信していきたい事が沢山あった為、今回このような通知を送って頂き、本当に有り難く思っています。ザックリと書いた文面ではありますが、宜しくお願い致します。



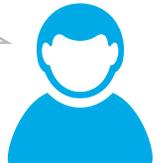
なにか伊賀市の役に立てればと思い、応募しました。私は高校を卒業した後、2年間県外にいったことによって伊賀市の良さを改めて気づきました。しかし、県外の人に良さを伝えるには知識が少なく、もどかしかったことを覚えています。現在、伊賀市で暮らしていても知らないことが多くあるので いろんな人と話しながら知りたいと思っています。また、県外の友人に遊びに来たいと思ってもらえるようなことや、今いる若い人たちが住み続けたいと思えることが、あるのか、できるのか、この機会に考えたいです。

私はこの4月に仕事の配属で伊賀に来ました。正直今まで伊賀に来たことが殆どなく、全く未知の田舎という印象でした。住み始めてから5カ月が経ちましたが、伊賀の魅力が徐々に分かるようになってきました。まだまだ伊賀について知らないことも多いですが、伊賀の素晴らしい文化や食等を自身も学びつつ多くの方に発信していきたいと思い、応募しました。



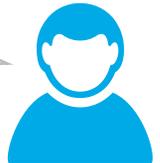
地元である伊賀市の魅力を知り、発信したいと考えたためです。私は「伊賀市から出て働きたい」という友人の言葉を聞いて悲しく感じました。外部に魅力を感じる若者達に、伊賀市の良さを知ってもらいたい、伊賀市に愛着を持ってほしい。そのためには、先ず自分が伊賀市と深く関わり、魅力を発見していく必要があると感じました。そして学んだことを多くの人に発信していきたいと考えています。若者会議では、参加者とともに伊賀市の魅力を発見し、その特徴を生かせるようなイベントを企画していきたいです。また、高校生と普段関わる機会がないため、この活動を通し高校生から色んな意見を聞けたらなと考えています。

故郷である伊賀市に何か貢献したい思いから応募しました。大学から大阪にでて今も大阪で働いています。お盆や年末等、実家に帰るたびに伊賀市の特産品を職場にお土産として買ってアピールしていますが、忍者以外の知名度はまだまだ低いと感じています。伊賀市を外から数年間見た経験から、もっとアピールできる魅力を見つけて、発信するお手伝いをしたいと考えています。



ご案内をいただき、お役に立てることがあるならと思い応募しました。福祉（特に幼児教育、保育など）に興味があります。

伊賀に生まれ、育ってきたこの地で、この先も長く暮らしていきたいという思いがあります。そのためには、市民一人ひとりが伊賀で住んでいてよかったと思える取り組みを行っていく必要があります。市民が伊賀の良さを知り、それを市外の人に伝えることで、他地域からも伊賀へ行きたいという気持ちを生み出せるような活動を取り組みたいと思います。



伊賀市は忍者など世界に発信できる素晴らしい観光資源があると、知人に言われて、伊賀市に大きな可能性があることを知りました。しかし、市外の友人が観光に来た際に、伊賀観光のレポートはいいかな…と言われ、かなりショックで、他の観光客の方にもそのように思われていないのかと考えるようになりました。また、子どもが生まれ、この先、伊賀市に一生住む中で、我が子に伊賀市がもっと世界に誇れる街だ感じてほしいと思うようになりました。きっとそれが自己肯定感を高め、子どもたちの成長にもより良く働いてくれるはずです。申し訳ないのですが、具体的に何をやりたいのかはまだ思いついていません。ただ、伊賀市に一回限りではなく何度も訪れたいと思っていただける街にしたいです。



これから伊賀市を盛り上げるためには、若者のチカラが必要不可欠だと思ったから。伝統を受け継ぎながら、新しい伊賀市へ発展させたいと思ったから。私の大好きな三重県伊賀市が日本中に知れ渡る活動をしたい。もっと観光客だけでなく、移住する人が増えるような活動をしたい。

伊賀で生まれて伊賀で育ち、他の市にも住みましたがまた伊賀へ戻ってきました。最近では地域のつながりや他人との交流を避ける人が増えてきたように思います。他人の子が悪いことをしても、叱ることの出来ない社会が出来つつあるように感じます。かく言う自分自身も歳を重ねてきて年々他者との関わりが減り、また社会の流れに身を任せる毎日をご過ごしています。そんな感じでこのまま過ぎて行くのも面白くないと感じている時にこの話をいただき、様々な年代の方たちと交流することで何か始められるキッカケになればと思い応募しました。



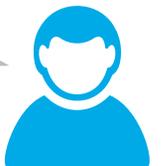
生まれも育ちも伊賀で27年間住んでいます。伊賀市の職員を目指していた頃、伊賀の魅力をとくさんの方に伝えたい気持ちで挑んでいました。現在は職員を目指すのは断念しましたが、伝えていきたい気持ちは今も強くあります。忍者フェスタのボランティアに参加したり、天神祭では、だんじりで笛方をしており、市内市外関係なく、文化や食、たくさんの伊賀のいいところを広めていきたいです。今回この企画を知り、少しでも自分のできることはないだろうかと思い応募させていただきました。27年間住んできたからこそ、伝えられることがあると思います。

伊賀市生まれの伊賀市育ちです。応募理由は伊賀市が忍者市宣言をしているので、ニンジャ繋がりやバイクの「ninja」ミーティングやバイクに興味持って貰えるようなイベントを作りたいです。伊賀市には走っていて気持ちいいワインディングロードや、隠れ家っぽい店、温泉があるので全国のライダーが興味持ってくれるような何かをしてみたいです。



伊賀で生まれ育ち、大学、就職、子育ては東京と神奈川にて、3年程前に伊賀に帰ってきました。昔、帰省する度に銀座通りが廃れていく光景を見て、地元が無くなる、と思った日は忘れられません。だけど本格的に伊賀に帰ってきた頃には、銀座通りも明るくなり、さまざまなイベントが催されるようになり、その時だけでも活気ある街が見られて、伊賀頑張ってるやん、とすごく嬉しくなりました。やはり、廃れた街には住みたくない、元気ある街に住みたい、というのが本音です。最初は都会と田舎のギャップに慣れない日々でしたが、都会と同じようにはならない、伊賀には伊賀の良さがある(ちょうどいい田舎)、と分かってからはすごく住みやすく、この環境を楽しまないと損だと思ふようになりました。ただ、中学から市外に通っていたので、あまり伊賀に友達がいなくて寂しいところでもあり、応募できる最後の年齢でもあるので、知らない伊賀をもっと知りたい、身をもって体感した伊賀の良さを発信したい、またいろんな世代の人と友達になって、更に伊賀での生活を楽しくしたいと思っています。

私は今京都の大学で観光やまちづくり、グリーンツーリズム等を勉強しています。それも、もともとは卒業後に伊賀に帰ってきて自分の好きな町をより良くしたいと思ったからです。京都という観光都市で学んできたことなど伊賀市にも活かせる部分が沢山あると思います。具体的にやってみたいこととしては、大学で学んできたことをアウトプットすることや、大学生という視点から新しいアプローチをして、良い意味でも新しい風を吹かせたらと考えています。



私は生まれたところからずっと伊賀市に住んでいます。何か新しいことを始めて自分自身成長したいという思いと、自分の行動や思いで伊賀市をよりよくできたらいいなという思いを持ち応募しました。



手紙を拝見し、何か伊賀のためにできることがあればと思い応募しました。

簡潔に言うと、伊賀市の未来を明るくするためです。大学生活で出身地が伊賀市だと言うと忍者のところかと良く言われます。しかし、伊賀市には忍者以外にも伊賀牛や組みひも、かたやきなどがあります。何らかの形でアピールできれば日本を超えてインバウンドの方々に今以上に来ていただけるかもしれません。また、魅力ある町になれば少子高齢化問題の改善にも繋がるのではないかと考えています。



私の通っている大学は、市との結びつきが強く、小学校へ大学生が授業へ行ったり、地元の企業に見学へ行ったり、行政の結びつきが強いです。そこで、私は伊賀市ももっと若者や小学校、中学校、高校との結びつきを強められたら、伊賀市のことを早くから知ることができて、伊賀市に関心を持ってくれる人が増えると思います。さらに伊賀市には最近カフェや新天地などといった若者に向けた店も多く出てきましたが、公共交通機関を利用して来る観光客の方には中々行きにくい所だと思います。伊賀鉄道をもっとアピールするなどして、若者の観光客を増やしていくのがいいのではないかと思います。私がお阪へ通学するようになって感じた事は、伊賀市といえば忍者という認識が思ったより多い事です。まず、全国に伊賀のことを知ってもらうにはら忍者を中心にアピールして、興味を持ってもらえたらいいのではないかと思います、伊賀市のことを全国の人にもっと興味をもってもらえたらいいなと思います。



同世代との繋がりを広げたいのとたくさんの人に伊賀を知ってもらいたいと思って応募しました。

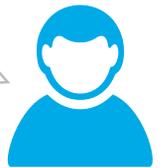


【応募の動機】とにかく伊賀が大好きで、何かふるさとのために力になりたいと思い、応募しました。同じように「伊賀が好き・伊賀のために何かしたい」と熱い志を持つ仲間に見える機会は滅多に無く、いずれ機会があれば東京からUターンしたい私にとっては、地元での仲間作りや、再出発の第1歩を踏み出す絶好のチャンスだと思い応募しました。「まだまだ知らない伊賀がある」と、帰省するたびにワクワクしますし、時に「また伊賀でやっていけるかな？」と不安な面もちよこちよ顔をだしますが、そんなリアルな期待や不安も、これから出会う色々な仲間達とシェアしながら、新たな伊賀の魅力を再発見し、街づくりのエネルギー源に変えていけたらと思っています。微力ながら、伊賀と国内外の架け橋になればうれしいです。「若者」しぼりで応募できるラストチャンスなので、ぜひ仲間に入れて頂けると嬉しいです(笑)【伊賀市とのつながり】私は18歳まで、おばあちゃん達の「げなげな話」を聞きながら伊賀でみっちり育ち、その後京都→豪州→NY→東京と、色々な街を転々としていますが、やっぱり心の故郷はいつも伊賀です。なんでこの魅力にもっと早く気づけなかったんだろう!と想う事も多く、伊賀にいる時は当たり前過ぎて何も感じなかった田んぼや山並みも、今では心から贅沢な景色に思えますし、今も実際に月1回は夜行バスで必ず帰省しています。【やってみたいこと】・現在月1ペースの帰省ですので、タイミングが合う限り会議に参加したいです。・東京在住のため、東京近郊での各種PRイベントのお手伝いに興味があります。・「Uターン考え組」として、移住イベントにも興味があり、移住前のリアルな不安を他の参加者の方々と一緒に共有しながら、いずれは伊賀にソフトランディングして貰えるような架け橋になればと思っています。・早い内から伊賀の魅力に気づいて貰うという意味では、学校の企画もとても魅力的ですし、幅広い意見を聞いて自分をフレッシュに保つ事が大好きなので、錆び付いた教員免許の出番が来るといいな…とも想っています。・生きていける程度の英語は話せますので、海外からのインバウンド旅行者や海外向けPR等、語学面でも何か出来る事があれば、お手伝いしてみたいです。やりたい事が多すぎて節操が無いですが、上記にない事でも、まずは一緒にチャレンジしてみたいです。どうぞよろしくお願ひします。



私は大山田地域に住んでいるのですが、どこを見ても高齢者ばかり。一見、活気のないように思えますが、その高齢者の方々が中心になって自治協として地域を盛り上げようと一生懸命活動してくださっています。しかし、逆に若者は働かに行くにも学校へ通うにも町の方へ出ていかななくてはならなかったり、仕事の都合でなかなか地域の行事に参加出来なかったりという現状があります。そこで、これからもここで住み続ける者として、またこの地域の未来を担う者として、真剣にこの地域と向き合いたいと思い、今回応募しました。私はこの伊賀市が大好きですし、これからも住み続けたいです。しかし、この人口減少社会で、今まで通りに何となく過ごしては市が廃れてしまうことは容易に想像がつかます。そのため、誰かがやってくれるという考えではなく、自分が行動するというおもいで、このまちをよりすてきにする活動に参加したいです。私が高校生の時、周りの子は「都会へ行きたい」「こんな何も無い田舎イヤ」と口にしていました。それはとても悲しいことだと思うので、もし、伊賀市を離れるとしても、みんなが地元に誇りを持てるようになるための活動をしたいです。ふんわりしていますが、これが私のしたいことです。

伊賀市で生まれ育ち、現在は伊賀市に住みながら大阪の大学に通っているのですが、「伊賀市出身」と言っ「忍者の街」と知ってくれている人もいて嬉しく思う一方、まだまだ知らない人も多いのだと感じました。また、忍者募集フェイクニュース騒動を通して、伊賀市は他都市での忍者集団・施設との差別化に苦しんでいるという現状も知りました。私の好きな伊賀市をもっと知ってもらいたいし、自分も知りたい！そう感じていた時に届いたのが、若者会議参加者募集のハガキでした。私も若者会議に参加することで、大好きな伊賀市に少しでも協力できることを嬉しく思うとともに、また伊賀市についてより多くの方に知ってもらえる他、自分にとっても故郷伊賀の知識が深められる等のメリットがあると感じました。そのため、今回応募させていただきました。まだまだ未熟ではあるものの、私のような特に若い力も活かして、伊賀市にご協力できればと思いますのでよろしくお願い致します。



今、私は京都で生活していますが、ふと思い出すのは18年間過ごした伊賀市の風景です。山や田に囲まれた中たたずむ上野城の存在感や、瓦が並ぶ城下町、少しずつ建物の雰囲気は変わりつつありますが、伊賀に帰ったときに迎えてくれる空気はずっと変わらない暖かいものだと感じます。私は大学で国際的な文化や習慣などを学んでいます。よって今回の会議において、大学で学んでいることを活かし、明るく活発なまちづくりとイベント計画、そしてもっと居心地の良いふるさととしての伊賀市づくりを目指したいと考えます。大学で多国籍の友達や先生と話す機会が多くありますが、その中で海外の方に注目されるのは、やはり「ジャパニーズカルチャー」、日本独特の歴史ある文化であると感じます。神社・仏閣、城などの建造物、祭りなどの催しや武家屋敷を含む瓦の家、町並み、日本を象徴するような伝統的な宝物を多く持つ伊賀市をもっとアピールしたいと考えます。私自身、幼少の頃から天神祭りに参加しており、鍛冶町二東社のだんじりの演奏者として10年間関わらせていただきました。そのことからもっとあの素敵な祭りが広まって欲しい、伊賀市をもっと多くの人に知って欲しいと思っています。日本らしさを持つ文化が消えつつある中、海外の観光客の心を掴むイベント計画と伊賀市の名物になるようなイベント計画をしたいと考えます。また、観光地において、他県でも有名であればあるほど利便性が勝ってしまい、交通や環境において課題が多くある現状があります。伊賀市は山に囲まれた自然豊かな町です。市民による、または観光客によるゴミの問題の解決など景観の維持にも力を注ぎたいと考えます。そして、観光以外に様々な人種、生活の方々が日本中には多くいますが、誰にでも住みやすい町としても浸透すればいいなと考えます。伊賀市は同性間のパートナーシップ宣誓制度を認めていることもあり、より幅広い価値観、考え方の人々が住む町になるのではないかと考えます。以上から、多くの人にとってふるさとのような町づくり、環境づくりをしていきたいと考えます。私の大好きな伊賀市をまた来たい町、住みたい町としてもっと広められるよう、短い任期ではありますが、他の参加者の方々と積極的な会議を作っていきたいと思ひます。



私は生まれたころからずっと伊賀市に住んでいます。何か新しいことを始めて自分自身成長したいという思いと、自分の行動や思いで伊賀市をよりよくできたらいいなという思いを持ち応募しました。

<応募した動機> 大きく2つあり、1つは大学まで育ったのが伊賀であること。2つ目は、関西を中心にまちづくり、地域活性を行っている事です。<伊賀との繋がり> 18歳まで育った以外には毎年10月に行われる上野天神祭に10年以上参加していて、毎年だんじりに乗っていました。<やってみたい事> 現在、関西を中心に行っているまちづくりが、大学生や若者を巻き込んだイベント企画運営、SNSプロモーションなどです。具体的には、大学生や高校生との共同プロジェクトで、イベント企画や運営など基本は、大学生のやりたい事・発想・イメージを大事にし、それを具体的にカタチにするサポートをしています。企業、NPO、商店街、行政から依頼を頂いたり、紹介して頂いたりして幅広い活動、企画内容をさせて頂いています。伊賀から通っている大学生も何人か会ったことがあるので、地元に住んでいる大学生や高校生の課外活動として参加してもらい、若者の力を最大限に活かし、世界にもっと「忍者の町」「住みやすい街」として知ってもらえる都市にしていきたいです。個人的に考えるCityプロモーション・忍者を主軸とし日本全国から集まるアクティブフェス・伊賀まちづくり大会議・住みやすいオシャレな城下町計画



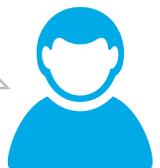
私は伊賀上野で生まれ伊賀上野で育ちました。伊賀には子供時代・学生時代の友達や恋人との思い出が沢山あります。近所を歩けば「ここで昔よく遊んだな」「この辺よく歩いたな」などふと思ったりします。しかし、大人になると共に当時の知り合いの多くは市外や県外に行ってしまう、同世代の人との関わりも少なくなってきました。ネットとスマホの普及により、どこにいても気軽に連絡が取れるし、色んなことが便利にはなりましたが、同時に人との直接的な繋がりは希薄になったように感じます。現実問題として年々人口が減少しており、自分も年々歳をとっていくなか危機感も感じています。地元の人や同世代の人との繋がりがもっと増えたら良いなあとなんとなく考えてはいましたが、特に自分が何か出来るわけでもなく…そこへ今回の公募の案内が来て、これは自分が参加するしかない！！と思い応募に至りました。少しでも地元の発展に貢献したいと考えていますのでよろしくお願い致します。活動内容としては、特にプロモーション活動やイベント企画に興味があります。



私は伊賀市で生まれ伊賀市で18年間過ごしました。私は今大学生で大阪にいます。先日帰省した時に町を歩いていると若者がほとんどいないのが気になりました。中高生は学校があるので仕方ないと思いますが、20代30代の方をほとんど見かけなかったと思います。このままでは10年後にはほとんど若者がいなくなるのではないかと心配になりました。県外に出て行った人たちがまた戻りたいと思えるような町、一生を伊賀で過ごしたいと思えるような町にしたいと思い応募しました。私が考えた案は、まずは伊賀を県外の方に知ってもらうということです。伊賀は忍者が有名ですが、それだけに頼りすぎなのかと思います。もう一つ何か必要だと思います。例えば銀座通りを使って月に何回かイベントを催すというのもありと思います。宣伝すれば県外からも遊びに来てもらえるので良い街だなと思ってもらえる機会になると思います。後は伊賀市のゆるキャラのいがぐりお？が全然かわいくないのでデザインを募集して新しくしてみるのもありと思います。自然がきれいなので癒されますが、娯楽施設が少ないので若者も外にあんまり出ないのではないかと感じます。伊賀市を支える一員として少しでも役に立てれたらと思います。よろしくお願い致します。。



私は、大学進学の際に京都市へ引っ越しするまで伊賀市で生まれ育ちました。小学生の頃に当時最年少で伊賀学検定を受検して合格するなど、幼い頃から伊賀市に愛着を持って過ごしてきました。大学進学後も三重県で就職する予定であり伊賀市に居住するため、伊賀市に住む若者の一人として若者会議のメンバーを志望させていただきました。大学では法学部に進学し、地方自治や行政を専攻していたためこれを生かすことで今回の企画に貢献していきたいと考えています。同年代の若者や、学生などのこれからの伊賀市を担う人たちに伊賀市の魅力を伝えていきたいと考えています。また世界一の観光都市である京都市で生活した経験を生かし、伊賀市の観光を盛り上げていく方法や観光行政の在り方について考えていきたいと考えています。観光だけでなく、福祉や教育、交通など伊賀市の他の問題についても積極的に考えていきたいと思っています。



どのような活動をするの？

平成31年度伊賀市若者会議では、主に3つの活動を進めていきます。

皆さんが若者会議で活躍してもらうために①**必要な知識を身に着けながら**、②**伊賀をよりよくするためのソリューション(課題解決策)を開発**してもらい、実行していただきます。また、伊賀市が推進している③**各種プロジェクトにも参画**していただき、皆さんの目線での改善などの意見を出してもらって、市役所や各種団体等と一緒によりよい伊賀市の実現を目指します。

1

知識を身に着けよう！

勉強会や交流会等の自主活動

- 既に活躍している方の講演や、伊賀市に関する知識を取得してもらうための勉強会等を開催します！
- 他自治体で活躍する団体との交流を図り、研鑽を深めるとともに、活動の輪を広げます！
- 皆さんからも「若者会議メンバーが知っておいたらイイかも」という内容があれば、積極的に勉強会等を企画してください！

平成30年度実施
三重大主催 忍者学講座

平成30年度のメンバー企画



ゲストハウス3カ所弾丸ツアー

撮影教室

音楽イベント

今年度もたくさん企画してくれると嬉しい限りよ！



知識を生かして

2

ソリューションを開発しよう！

企画会議等での検討、そして実現

- 伊賀市をよりよくするためのアイデアを提案いただき、一緒に進めて行く仲間を集め、効果的なソリューションを開発しよう！
- 企画会議(月1回程度)の中で、アイデアのプレゼンやブラッシュアップを行います！(P19参照)

平成30年度提案の様子
(第4回まちづくりラウンドテーブル)



みんなのアイデア大募集！



融合を意識して

3

プロジェクトに参加しよう！

市主催プロジェクトへの参加等

- 市役所等が主催する各種プロジェクト(イベント)に参加し、皆で一緒に伊賀市を盛り上げましょう！
- 参加しての感想や皆さんの視点による課題認識などを共有し、プロジェクトをよりよくするためにご意見ください！(P20参照)

平成30年度実施の様子(NINJAフェスタ)



みんなで伊賀市の事業を盛り上げよう！



どのような活動をするの？

企画会議等での検討、そして実現

伊賀市をよりよくするための具体的なソリューションを検討してもらう会議を開催します。会議では、メンバーに対して新たなアイデアをプレゼンしてもらう時間と、既に行っている事業をよりよくするための話し合いの時間を用意します。また、その他事務局からいくつか企画を用意する予定です。

2

ソリューションを
開発しよう！

開催頻度：1か月に1回程度 開催場所：市内各所 開催時間：多くのメンバーが参加できるよう適宜調整

前半

メンバーに伝えよう！
「プレゼンテーション」

わたしは、伊賀で●●をしたいです！みなさんも一緒に企画しませんか？



わたしは、みなさんと▲▲について、意見交換をしたいです！

一緒に活動するメンバーを集めよう！頑張ってプレゼンしてみてね！

面白そうですね！●●であれば、今までに経験したことがあります。一緒にいいですか？

僕も▲▲には興味があります！

わたしも！



それぞれ興味のあるテーマごとに話を深めていきます

例えば…

後半

メンバーで考えよう！
「ディスカッション」

インスタミート



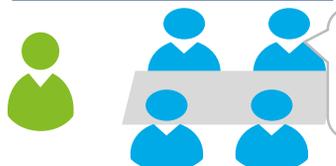
ゲストハウス



今年度は実現することが目標グリ！みんなで力合わせて進めるグリよ！

外国人が喜ぶイベント企画しない？

伊賀学王選手権



なにと連携して進めればいいかな？

フリートーク



そして

メイン目標

実行

その他企画会議の中で実施する予定

- まちづくりラウンドテーブルの企画及び参画（2月予定）
市民や市職員を交え伊賀市の未来を語るイベントであるラウンドテーブルに参加していただきます

伊賀市等主催プロジェクトへの参加

伊賀市では、さまざまなプロモーション活動を行っています。皆さんには、それらのプロジェクト(イベント)に参加していただき、メンバーの皆さんの目線からイベントをよりよくしてもらうことを期待しています。

3

プロジェクトに参加しよう！

都市圏でのPR・交流プロジェクト

伊賀市では、伊賀市の認知度向上や来訪者増加を目指し、都市圏でのプロモーション活動を行っています。平成31年度は以下のイベントを予定しています。伊賀市と一緒にPRしませんか？！

<平成31年度活動予定>

- ▶ 都市圏で行われるPRイベント（11月下旬予定（東京）/3月予定（大阪））
- ▶ 首都圏で行われる伊賀市関係人口向けの交流イベント（11月～12月予定）

都市圏で伊賀をPRしよう！



市内イベント企画プロジェクト

伊賀の魅力をより高めるために、市外だけでなく市内での取り組みにも力を入れています。平成31年度は以下のイベントを予定しています。市内から一緒にイベントを盛り上げませんか？！

<平成31年度活動予定>

- ▶ 三重とこわか国体2021事前イベント（伊賀市内開催 9月末～10月予定）
- ▶ 伊賀市文学振興イベント（11月予定）
- ▶ **企画会議で実行が決定されたソリューション（P19参照）**

市内から伊賀を盛り上げよう！



先輩授業プロジェクト

伊賀市は、地域に根付く若者（=IGABITO）の育成として、市内県立高校に対して各種支援を行っています。高校生の学びや成長のために、若者会議メンバーにも授業参加していただきます。一緒に高校生を応援しませんか？！

<平成31年度活動予定>

- ▶ 上野高校 みらい学地域プロデュース
 - ▶ 伊賀白鳳高校 伊賀のお土産プロデュース
 - ▶ あけぼの学園高校 美容関連商品プロデュース
- ※3校ともに10月頃～予定

がんばる高校生たちを応援しよう！



活動の進め方（全プロジェクト共通）

各プロジェクトは基本的に3段階の活動で構成されます。可能な限り、すべての活動にご参加ください。

事前準備

- プロジェクトの内容や皆さんに協力頂きたいことを学ぶ

実施・参加

- 各プロジェクトのイベントや授業等に参加する

フォロー

- 実施・参加を受けて、改善等の観点から振り返る

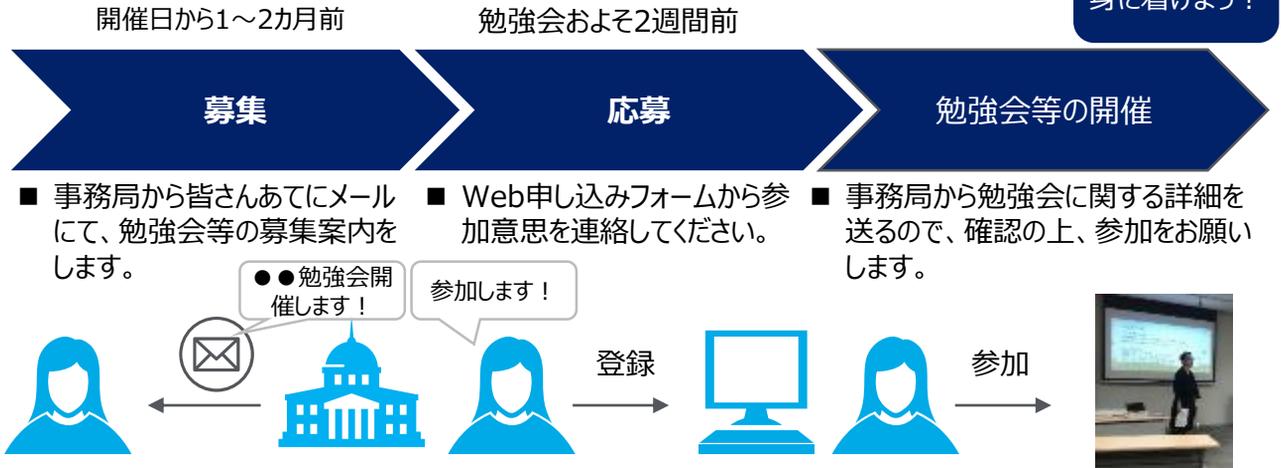
(参加方法はP21ページ参照)

どうしたら参加できるの？

勉強会への参加、プロジェクト活動および企画会議の参加については、以下の流れで申し込みをお願いします。なお、内容によってはスケジュールの通りにならない場合があります。

勉強会等の企画、参加

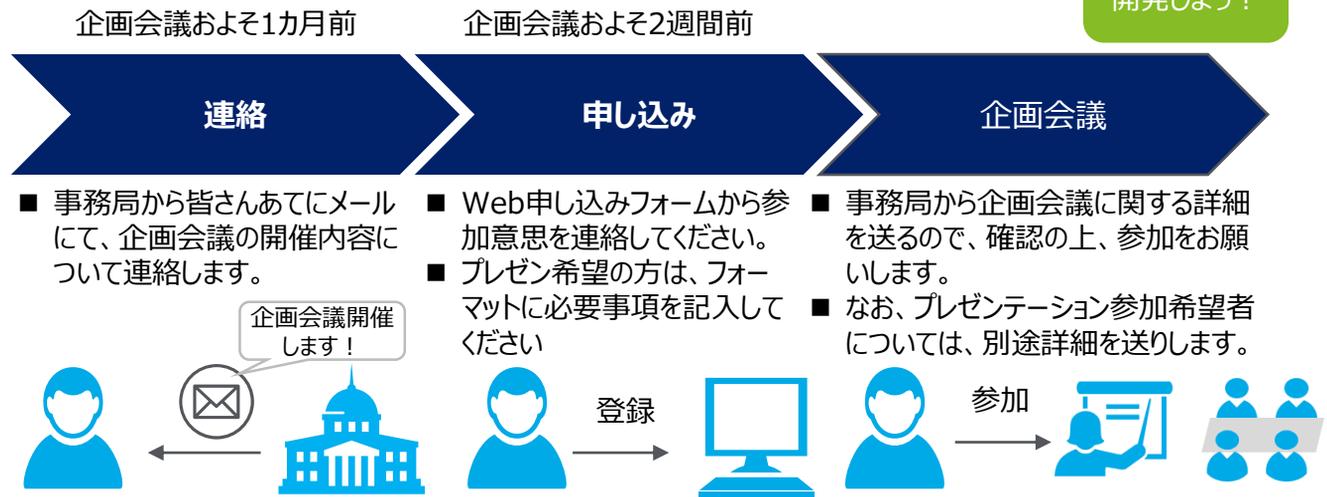
1 知識を身に着けよう！



メンバーの皆さんから提案がある場合は、一度事務局にご相談ください。

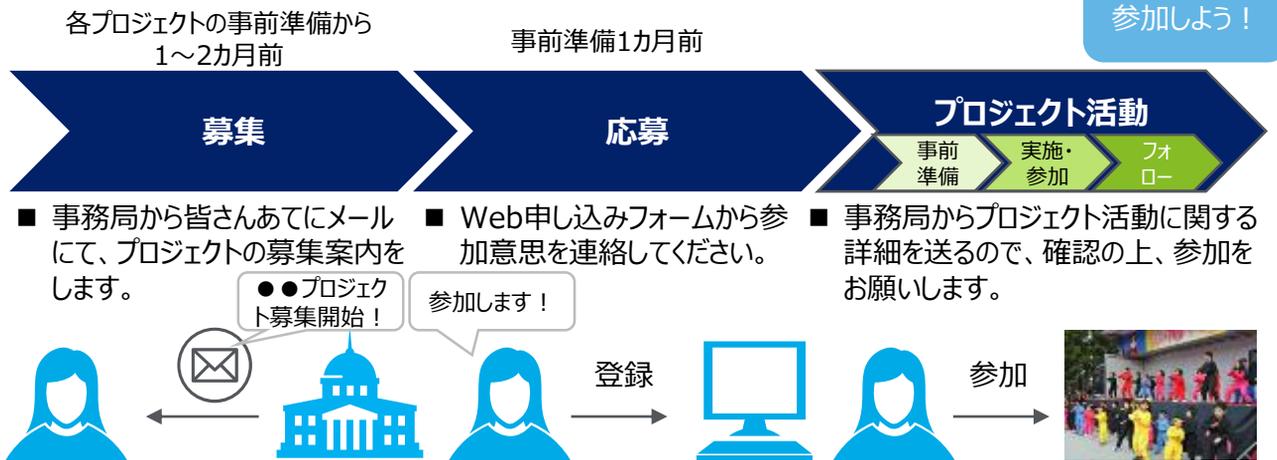
企画会議への参加

2 ソリューションを開発しよう！



伊賀市等主催プロジェクトへの参加

3 プロジェクトに参加しよう！



各種スケジュールは？

勉強会、企画会議およびプロジェクトの予定しているスケジュールは以下の通りです。現時点でのスケジュールのため、実際とは異なる場合があります。

募集・応募

事前準備

実施・参加

フォロー

令和元年

令和2年

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

知識を身に着けよう！

伊賀市等主催の勉強会等

確定次第、周知します

皆さん企画の勉強会等

ドシドシ企画してください

ソリューションを開発しよう！

企画会議

▼5/29(水) 18時～

▼6月の土日で調整中

確定次第、周知します

▼まちづくりRT

皆さん提案ソリューション

三重とこわか国体2021事前イベント

伊賀市文学振興イベント

都市圏PRイベント

関係人口向け交流イベント

上野高校
みらい学
地域プロデュース

伊賀白鳳高校
伊賀のお土産
プロデュース

あけぼの学園高校
美容関連
プロデュース

プロジェクトに参加しよう！

調整中、確定次第周知します

コミュニケーション方法は？

事務局からの連絡は、基本メールでの連絡とします。sougouseisaku@city.iga.lg.jpから皆さんの登録メールアドレスへ勉強会の案内、プロジェクト活動の案内および企画会議の案内だけでなく、事務連絡などをお送りします。また、LINEで若者会議グループを作成していますので、可能であれば参加メンバーから招待してもらってください。その他、情報共有ツールは現在検討しているため、改めてお知らせします。

活動により発生する支給等 (市が皆さんに対しお支払いするお金) について

支払い方法

支払いについては、口座振込とさせていただきます。

(7月、10月、1月、4月を予定)

<支払いスケジュール>

★ 支払い
タイミング

令和1年～2年														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
1回目	活動			★										
2回目			活動				★							
3回目						活動				★				
4回目										活動			★	

支払い金額

今年度は以下のルールに基づき金額を決定します。

(※今後、毎年度の予算額により変更する可能性があります)

(※途中出退席の場合、下記より減額する場合があります。)

①市内で実施するイベントや会議の場合

ア 開催時間が3時間以内のイベントや会議への出席

- ・ 一人1回あたり2,000円

イ 開催時間が3時間より長いイベントや会議への出席

- ・ 一人1回あたり3,000円

②市外で実施するイベントや会議の場合

以下のうち、低い方の金額を支給します

ア 最寄駅から現地までの往復にかかる実費額

- ・ 各人が旅程表を作成し、事務局へ提出します。

イ 推奨ルートとして事務局が提示する金額

- ・ 市役所を発着点として実際に往復可能なルートを設定し、その往復に要する金額を積算します。